

厚生委員会メンバー紹介

(左から)

委員長

副委員長

委員

内藤美貴子

大野祐司

橘正俊

武藤千里

宮本和実

元木勇

手話

厚生委員会報告

- 子ども・若者支援について
- 子ども発達センター事業について
- 認知症対策について

●認知症サポーター100万人キャラバン●
認知症サポーター養成講座標準教材
認知症を学び
地域で支えよう



全国キャラバン・メイト連絡協議会

認知症
サポーター



「ここあ」の居場所支援



発達センター外観

手話

○子ども・若者支援について

「調布市子ども・若者支援事業（ここあ）」では、不登校・ひきこもりなどの子ども・若者に対して居場所の提供や相談支援、経済的事情等がある中学生を対象に学習支援を実施。

この事業を社会福祉協議会に委託し、総額7721万7000円を計上。



「ここあ」の居場所支援



「ここあ」の学習支援

手話

○子ども・若者支援について

さらに、

子ども若者地域協議会運営費117万円

居場所提供事業への補助金200万円

自立支援のための経費189万円

などを予算計上している



「ここあ」の居場所支援



「ここあ」の学習支援

手話

○子ども・若者支援について

相談事業では、アウトリーチの方向性、学校との連携、相談件数50%増の要因は？

→相談員が直接赴くケース、ハローワークなど就労面でも同行。
学校との連携は、「子ども若者支援地域ネットワーク」等で連携。
相談件数の増加は、コロナの影響と
学習支援相談の増加が要因。
新年度は相談事業1名増員予定。

手話

○子ども・若者支援について

居場所事業では、若者が来やすい雰囲気づくりには食事が大事では？

→コロナ前は軽食やおやつを提供。今後は、総合福祉センターの移転にあたり、調理室の活用などを議論していく。

さらに、子どもの貧困の現状として、収入は一定あっても、子どもには行き届いていない家庭が課題。

居場所事業から糸口を見つけてほしいとの要望。

また、子ども・若者のネットワークの各施設を紹介する動画を作成する。

手話

○子ども発達センター事業について

発達に遅れや偏りのある子どもや、その心配のある子どもと家族
に対し、発達支援・相談・通園事業を柱とした療育及び子育て支援
に取り組まれています。

また、令和4年度は「相談コーディネーター」が一人配置され、
これらの事業の総額1億2400万円余が計上。



発達センター外観



プレイルーム



室内

手話

○子ども発達センター事業について

作業療法士等の専門の方の配置は重要。予算の配慮は？

→専門的療育が必要であるため配慮し、予算措置をしている。

就学後も同じサービスは受けられないのか？ 対象を中学生まで
拡充できないか？ フォローはどうなっているのか？

→療育はできていないが、アドバイスを実施。さらに、就学後の支援
策として、学校に知ってほしいこと等
を就学支援シートに記入して、学校に
渡している。

中学まで対象拡充は、小学生にも
療育についての要望は認識。

手話

○子ども発達センター事業について

今でも待機がいるほどの需要がある事業。増設が必要ではないか。

都営地がある旧金子都営団地跡地などの活用も検討しては？

→配慮を必要としている子どもの増加は認識。市民の声を最優先に、全庁的な施策の中で検討したい。

就学前から成人するまでの切れ目ないサービスということで、市全体で捉えるべき。

事業の拡充、施設面、発達センターの役割など検討し、総合計画・基本計画に位置付けて進めるべきとの要望。

手話

○認知症対策について

令和4年度から新たに開始する認知症検診の経費、認知症連携会議の運営に係る経費、認知症徘徊高齢者家族支援サービス事業費等、総額830万7000円の予算が計上。



もの忘れ相談医
あんない



徘徊探知機



認知症
サポーター

手話

○認知症対策について

新しい認知症検診について、わかりやすい案内がされているのか？

→医療機関の紹介やサービスの紹介も検診の案内に同封。
検診の名称も物忘れなどの表現に工夫。

認知症の疑いがある方へのフォローは？

→認知症になる一歩手前で、いち早く
医療機関に結びつけ、進行を遅らせる
取組みに重点を置く。
認知症の初期集中支援チームも含めて
フォローしていく。

手話

○認知症対策について

認知症サポーターの活用の取り組みは？

→ 積極的にサポーターを養成し、ネットワークの取組みを始める。

認知症高齢者に徘徊探知機を持たせることは難しい。

靴にICタグを付ける等、居場所がすぐに確認できる、新しい仕組みを導入してはどうか？

→ 民間企業や他自治体の取り組みを参考に検討する。

手話

厚生委員会報告

報告を終わります
ありがとうございました。

手話